

横浜市放射線対策記録 (平成23・24年)

平成25年3月発行

横浜市放射線対策記録の作成にあたって

平成23年3月の東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故の発生により、大気、土壌、海洋、河川などの環境中に幅広く放射性物質が拡散し、本市にも様々な影響を及ぼしました。

本市では、この過去に体験したことのない、未曾有の事故発生に対し、369万人の市民の皆様の安全・安心に応えることを基本とし、市民相談対応、学校や保育所等の空間放射線量の測定、給食や流通食品等の放射性物質検査、マイクロスポット対応など、可能な限りの対策を、市役所総力を挙げて取り組んできました。

今般、事故の発生から平成24年12月まで概ね2年間が経過し、これまで本市が取り組んだ放射線対策全般の内容や実績等を整理し、記録として残すと同時に、今後、万一、同様の災害が発生した際の参考として、この記録を作成しました。

こと放射線対策については、今後も継続して実施していく必要があることから、平成25年以降についても適宜時点修正を行い、更新していきます。

平成25年3月

横浜市放射線対策本部

横浜市放射線対策記録(平成23・24年) 【目次】

第1章	背景 (東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故が発生して)	01
第1節	事故の経過について	01
第2節	事故後の放射性物質拡散状況	04
第2章	本市が実施した放射線対策の概要 (事故後の初期対応から)	08
1	東日本大震災発災当初の出来事	08
2	横浜市内での放射線対策の初動	09
3	市役所横断体制へ	13
4	広報、普及・啓発の取組	14
5	「マイクロスポット」の確認とその対応	15
6	事故由来放射性物質に関する状況整理	18
7	国への要望	19
8	東京電力株式会社への賠償請求	20
第3章	環境中の放射線対策	29
第1節	横浜市内の空間放射線量について	29
1	モニタリングポストにおける市内の空間放射線量	29
2	横浜市における放射線量測定結果の対応の目安	30
3	市内の空間放射線量の状況	31
第2節	放射性物質による局所的汚染箇所の有無の確認、対応	34
1	マイクロスポットの有無の確認、対応	34
2	作業者の安全確保	36
3	学校に設置された雨水利用施設	37
4	瀬谷区内の廃水路敷における局所的汚染対応	37
5	雨水調整池の対応	38
6	事故由来放射性物質により汚染された廃棄物の処理等についての対応	38
	(参考)【環境省】100Bq/kgと8,000Bq/kgの二つの基準の違いについて	39
第3節	下水汚泥焼却灰の取扱い	40
第4節	ごみ焼却工場及び最終処分場の対応	41
第5節	その他の対応	44
1	農用地土壌	44
2	堆肥	44
3	薪・炭・落ち葉	45
4	横浜港から輸出されるコンテナ等	46
5	海水浴場、プール及び河川施設関係の親水拠点	47
第4章	食品中の放射性物質対策	48
第1節	食品中の放射性物質の基準値について	48
第2節	食品中の放射性物質検査について	49
第3節	水道水中の放射性物質対策	55
第4節	食材に関するトピック	56
1	水産物	56
2	牛肉	59
3	牛乳	60
	参考資料	61
1	放射能の基礎知識	61
2	身のまわりの放射線について	62
3	放射線の増減について	63